

2025 年度

学校名：淡路市立一宮小学校

対象学年：6 年

① 学習指導案

プログラム	No.10「校歌の風景を見つめてみよう」
単元名 (全9時間)	校歌にのせて、ふるさと一宮の風景を伝えよう
学習のねらい	○ 校歌に込められた作者の思いを理解し、歌唱表現の仕方を考える。 ○ ふるさと一宮の自然や歴史・文化の素晴らしさを、歌唱と映像で表現し伝える。
学習内容	1 音楽科「音楽で思いを伝えよう」 2 総合的な学習の時間「校歌にのせて、ふるさと一宮の魅力を伝えよう」
参考資料 準備品 実施場所等	校歌・一宮町史 社会科副読本『わたしたちのまち一宮町』（旧一宮町教育委員会） 学習用タブレット端末・旧一宮町地図（拡大住宅地図） 多賀の浜・伊弉諾神宮等、旧一宮町各所

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	総合的な学習の時間 校歌の作者を招聘し、校歌に詠われたまちの情景や、歌詞・曲に込められた思いなどを知る。	○ 事前に、家庭学習として、自分なりの考えを持たせておく。 ○ 自分の考えと照らし合わせながら作者の話を聴くことで、その心情をより深く理解するようにさせる。	◎ 歌詞に詠まれた風景や曲調を想起し、作者の思いを感じ取っている。 (思・判・表)
2	音楽科 歌詞や曲調に込められた思いや意図にふさわしい表現を工夫する。	○ 自分たちの歌を聴く人に作者の思いを伝えられるように、聴き手を意識した音楽表現に取組ませる。	◎ 既習の歌唱表現を取り入れながら、聞き手を意識した音楽表現に取組もうとしている。 (学びに向かう力)
3	総合的な学習の時間 歌唱映像・カラオケ映像制作に向け、計画を立てる。	○ 旧一宮町地図を使用し、校歌に詠われている場所への訪問計画と効果的な映像にするための工夫などについて話し合わせる。	◎ 活動の目的を理解し、話し合い活動に参加しようとしている。 (学びに向かう力)

4・ 5	<p>総合的な学習の時間</p> <p>現地を訪れ、歌詞に詠われている場所の魅力を感じ取ったり、撮影したりする。</p>	<p>○ 写真や映像として記録するだけでなく、感じたことや思ったことを言葉にして書き留めておくようにさせる。</p>	<p>◎ 作者の話を想起し、自分自身の経験やこれまでの他者との関わりなどと結び付けながら活動しようとしている。</p> <p>(学びに向かう力)</p>
6	<p>音楽科</p> <p>歌唱映像に使用する歌唱の録音をする。</p>	<p>○ 歌詞や曲調に込められた作者の思いが歌を聴く人に伝わるように、表現を工夫しながら歌唱させる。</p>	<p>◎ 歌詞に詠われている情景が観る人に伝わるように写真や映像に残そうとしている。</p> <p>(思・判・表)</p>
7・ 8	<p>総合的な学習の時間</p> <p>映像と音源とを合わせ、歌唱映像・カラオケ映像に仕上げる。</p>	<p>○ 意見を出し合い、よりよい作品に仕上げるようにさせる。</p>	<p>◎ 歌詞や曲調に込められた作者の思いが歌を聴く人に伝わる歌唱表現ができている。</p> <p>(知・技)</p>
9	<p>総合的な学習の時間</p> <p>制作した映像を使いながら、保護者・地域の方たちや下級生に向けて発表する。</p>	<p>○ 保護者・地域の人たちや下級生に何を伝えたいのか、自分の思いを再確認し、発表に臨ませる。</p>	<p>◎ 自分本位にならず、他者の意見も尊重しながら一つの作品を仕上げようとしている。</p> <p>(学びに向かう力)</p> <p>◎ 聞き手を意識し、自分たちの思いが伝わるように発表している。</p> <p>(思・判・表)</p>

<留意点>

音楽科





本計画（全9時間）以外の時間の中で歌唱練習を積み重ねた上で、収録に臨む。

総合的な学習の時間

歌詞全体をいくつかのパートに分けグループごとに割り当てたり、グループ対抗でよりよい作品を選ぶ仕組みにしたりして、全員が最後まで意欲を持って取り組めるよう工夫する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 淡路市立一宮小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	6年教室	校歌の作者を招聘し、校歌に詠われたまちの情景や、歌詞・曲に込められた思いなどを知る。		普段は何となく歌っていた校歌に、これだけの故郷の魅力が詰まっていたことに感動している様子が見られた。
2	音楽室	歌詞や曲調に込められた思いや意図にふさわしい表現を工夫する。		、ここで仲間とともに学ぶことの大切さを感じながら工夫したいと意欲を高め取り組んでいた。
3	6年教室	歌唱映像・カラオケ映像制作に向け、計画を立てる。		よりよい作品にするために、映像にどのような素材を使うか、意見を出し合ってみんなで考えた。
4・5	地域	現地を訪れ、歌詞に詠われている場所の魅力を感じ取ったり、撮影したりする。		近所に住んでいてもこれまで訪れたことのない場所に、こんなにも歴史の深い場所があることに驚いた。
6	音楽室	歌唱映像に使用する歌唱の録音をする。		音楽の時間に練習を繰り返し、のびやかな歌唱に仕上げようと何度も録音をし直し粘り強く取り組んだ。
7・8	音楽室	映像と音源とを合わせ、歌唱映像・カラオケ映像に仕上げる。		卒業後も長く使ってもらえるようにと、クオリティを求めながら熱心に取り組んだ。

9	体育館	制作した映像を使いながら、下級生に向けて発表する。	校歌に詠まれているふるさとの情景や歌詞に込められた思い、工夫した点などを加えながら紹介し、そのあと全校生で効果を歌った。
---	-----	---------------------------	--

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点 児童の活動への意欲を掻き立てるため、卒業制作として取り組ませた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点 校歌に詠まれている場所へ出かけるための交通手段である、市のマイクロバスの予約がいっぱいで、またバスを貸切るための費用の確保が難しいため、思うように現地を訪れることができなかった。</p>
<p>(3) 児童の反応 卒業制作として取り組むことで、自分たちの作品が後世に残せるという思いから、高い意欲をもち、最後までその意欲を継続させて取り組むことができた。 また、これまでは歌詞の意味や情景まで意識して歌っていなかったが、この取組を通して、校歌に対する愛着が強くなった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 児童に限らず、教職員も同様に、この取組を通して校歌に対する愛着を持ち、この学校の教職員であることの誇りにも似た感覚を覚えている。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の意欲と時間数とのバランスを維持するための手立てを考えておく。 ○ 主体的な学びとなるよう、実際に校区に出かけ魅力を発見したい・自分たちが見つけたふるさとの魅力を知ってもらいたいという意欲を持たせる工夫が必要である。 ○ 自分の足で歩き、目で見て確かめることができるよう、マイクロバスの手配など、時間的な余裕をもって計画することが大切である。 本校は、旧4小学校からなる統合校であるため、校区が非常に広い。校歌に詠まれている場所や校歌に込められた思いをイメージさせる場所等を巡るには交通手段が大きな課題となる。一宮小学校への愛着を深め、「一宮」のまちを自分のふるさととして誇りを持ち、ふるさとのよさを守り続ける人になってもらえるよう取組を続けていきたい。 次年度は、隣接する小学校との統合を控えている。統合後も取り組みを続け、一宮地区のすべての子どもたちが、「一宮」のまちを大切に、自分たちの力でよりよいまちづくり行っていけるようにしていきたい。